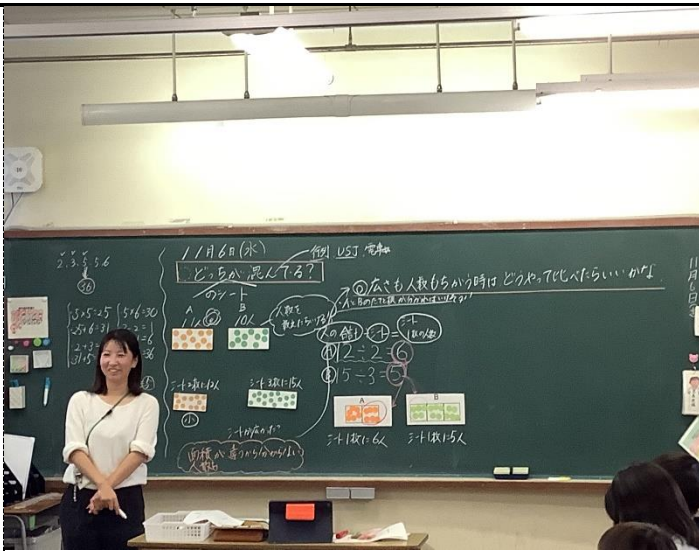
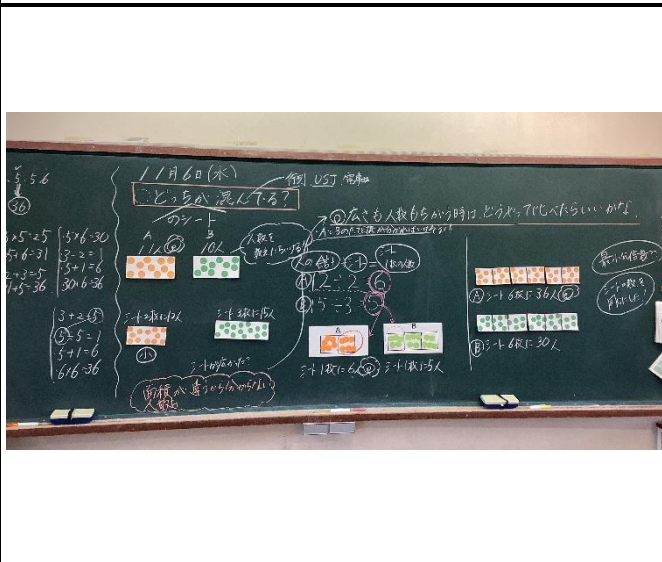


実施日：2024年11月6日

研究テーマ：子どもたちが主体的に考える、算数の授業について研究する。



研究会の達成目標：授業を公開し、授業者・参観者双方の授業力向上に取り組む。

豊能地区3市2町で連携して、公開授業や研修等の機会を創出する。

活動内容

10月：豊中市立庄内さくら学園の余田先生に5年生「速さ」の授業を公開して頂き、見学の後、意見の交流を行った。

今回の授業は「速さ」を判断するうえで必要な「時間」と「距離」を子どもたちが見つけ出す展開だった。時間と距離の数値を最初から提示して比べ方を考えることに焦点を当てる展開が多い中、子どもたちが関係する2量を見つけて出す授業にしたことで、「速さ」の概念についてイメージが豊かになったのではないかと意見もあった。学びを作り出す子どもたちの主体的な姿に、本研究会の目指す方向性のヒントを見ることができた。

11月：東豊台小学校の水口先生に5年生の「単位量あたりの大きさ」の導入場面の授業を公開していただいた。授業後の検討会での主な意見は二つであった。

「考えの多様性」…授業の中で、課題に対して多様な考えが示されることは良しとされやすい。しかし、多様な考えが出されることは、深い学びに向けた一つの手段であり、多様な考えが出されることが目的ではない。その授業の目的に合わせて、児童の考えの集め方や方向性の示し方にも工夫があって良いのではないかと。

「わり算の意味理解」… $12 \div 2 = 6$ という式を見てどのようなイメージを持つと良いのか。2を1と見た時に、12が6倍にあたる数であるというイメージを持てる子どもに育てたい。式には意味がある。何のために式を立てる

のか。どのような式を立てる必要があるのか。子どもたちがそれぞれ自分なりに表現できるまでを育てたい。

最後に、教科書の使用状況についての交流を行った。効果的な使用法について交流することができた。

今後の活動

12月 公開研究授業

1月 公開研究授業（池田市との合同開催）

2月 研究報告会に向けた準備 次年度に向けて

12月定例会では、豊中市立寺内小学校の森先生に授業を公開していただき、検討会を行う予定である。本研究会は授業をもとに、研究テーマである「子どもたちが主体的に考える算数の授業」について知見を深めている。多くの先生に参加していただき、さまざまな角度から意見の交流を行いたい。